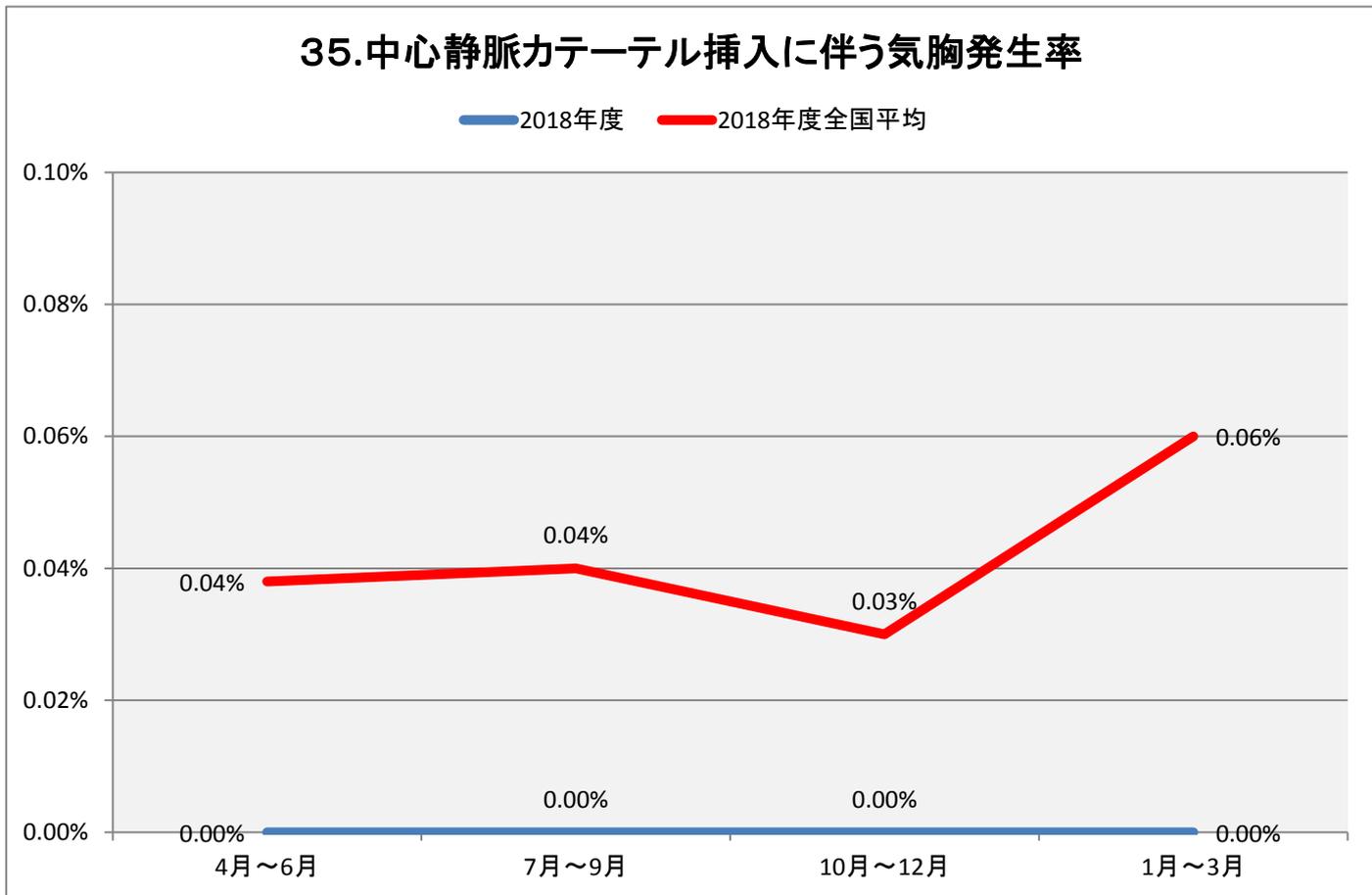


35.中心静脈カテーテル挿入に伴う気胸発生率

(1)調査結果



調査期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
2018年度	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
2018年度全国平均	0.04%	0.04%	0.03%	0.06%

(2)指標の説明

中心静脈カテーテル挿入術は、主に長期の栄養管理を必要とする患者さん、抗菌薬や循環作動薬など複数の点滴を必要とする患者さんに不可欠とされる処置です。心臓近くの中心静脈にカテーテルという管を留置することで、重症患者さんの全身管理に役立ちます。中心静脈カテーテル挿入術の合併症頻度を低く保つことは、医療安全に対する取り組みの指標となります。また、他施設よりも値が高い施設では、再発予防に向けた安全管理を見直す契機となります。2018年度から採用された項目です。

(3)定義

分子: 分母のうち、入院後医原性気胸が発生した患者数
 分母: 中心静脈カテーテルが挿入された患者数